

みどりの加速化支援交付金のうち  
グリーンな生産体系加速化事業

令和9年度予算概算要求額 1,803百万円（前年度 - ）の内数

＜対策のポイント＞

気候変動適応技術や環境にやさしい生産技術とともに省力化に資する技術を取り入れるなど、グリーンな生産体系への転換を加速化するため、農産・畜産の各産地に適した技術の検証及び定着に向けた取組を支援します。

＜事業目標＞

○ 化学農薬使用量（リスク換算）の低減（10%低減）

○ 農林水産業のCO<sub>2</sub>ゼロエミッション化（1,484万t-CO<sub>2</sub>）

○ 化学肥料使用量の低減（20%低減）

○ 畜産関連GHGの低減（29万t-CO<sub>2</sub>）

○ 有機農業の面積（6.3万ha）  
[令和12年]

＜事業の内容＞

1. グリーンな栽培体系加速化事業

気候変動適応技術※1や環境にやさしい栽培技術※2とともに省力化に資する技術を取り入れたグリーンな栽培体系の検証や、検証に必要なスマート農業機械等の導入等を支援します。

※1 高温等の影響による品質や収量の低下を回避する栽培技術  
高温耐性品種の導入、高温回避資材の導入等

※2 環境負荷低減に資する普及前段階の栽培技術  
化学農薬低減：抵抗性品種への切り替えとそれに適した防除手法等  
化学肥料低減：露地野菜における土壌分析を活用した適正施肥等  
温室効果ガス削減：生分解性資材等への転換、電動農機の導入等

2. グリーンな飼養体系加速化事業

環境にやさしい飼養技術※3を取り入れたグリーンな飼養体系の検証を支援します。

※3 アミノ酸バランス改善飼料、GHG削減に資する飼料添加物、バイパスアミノ酸によるGHG削減技術

〔支援内容〕

① 検討会の開催

② グリーンな生産体系の検証

③ ②に必要なスマート農業機械等の導入等（1の事業のみ）

④ グリーンな生産体系の実践に向けた栽培・飼養マニュアルの作成、産地戦略（指針・計画）の策定、情報発信（HP掲載等）

＜事業イメージ＞

1 グリーンな栽培体系の検証

気候変動適応技術（例）  
高温耐性品種 高温回避資材

又は

環境にやさしい栽培技術（例）  
化学肥料の低減 温室効果ガス削減  
データを活用した可変施肥 電動農機

省力化に資する技術（例）  
ドローン

選択  
検証に必要なスマート農業機械等の導入  
自動操舵システム等

検討会の開催（環境負荷低減に向けた取組方針の検討等）

2 グリーンな飼養体系の検証

アミノ酸バランス改善飼料への転換  
GHG削減に資する飼料添加物の給与  
肉用牛へのバイパスアミノ酸の給与

グリーンな生産体系の全国展開の加速化

栽培・飼養マニュアル・産地戦略（指針・計画）の策定

〔お問い合わせ先〕

（1の事業）農産局技術普及課（03-6744-2107）

（2の事業）畜産局総務課畜産総合推進室（03-6744-0568）

＜事業の流れ＞

国 定額、1/2以内 都道府県 定額、1/2以内 協議会（都道府県又はJA等を含む）、地方公共団体等